

トピック — 平成26年度冷凍野菜等の消費動向調査 (Web調査) の概要 —

近年、需要が堅調な冷凍野菜等（冷凍野菜及び原料に野菜を使用した冷凍調理食品）について、当機構が消費者を対象に昨年10月に実施した消費動向調査（Web調査）の概要を紹介する。

冷凍野菜等の購入先（複数回答）は、回答者の約9割がスーパー・マーケット・生協等と最も多く、次いでコンビニエンスストアは約1割、百貨店・デパートは1割未満であった。

冷凍野菜の購入品目は、冷凍えだまめが約2割と一番多く、次いでミックスベジタブル、冷凍ほうれんそうなどとなっている。冷凍調理食品は、ギョーザが約3割と一番多く、次いでコロッケ、シュウマイとなっている。

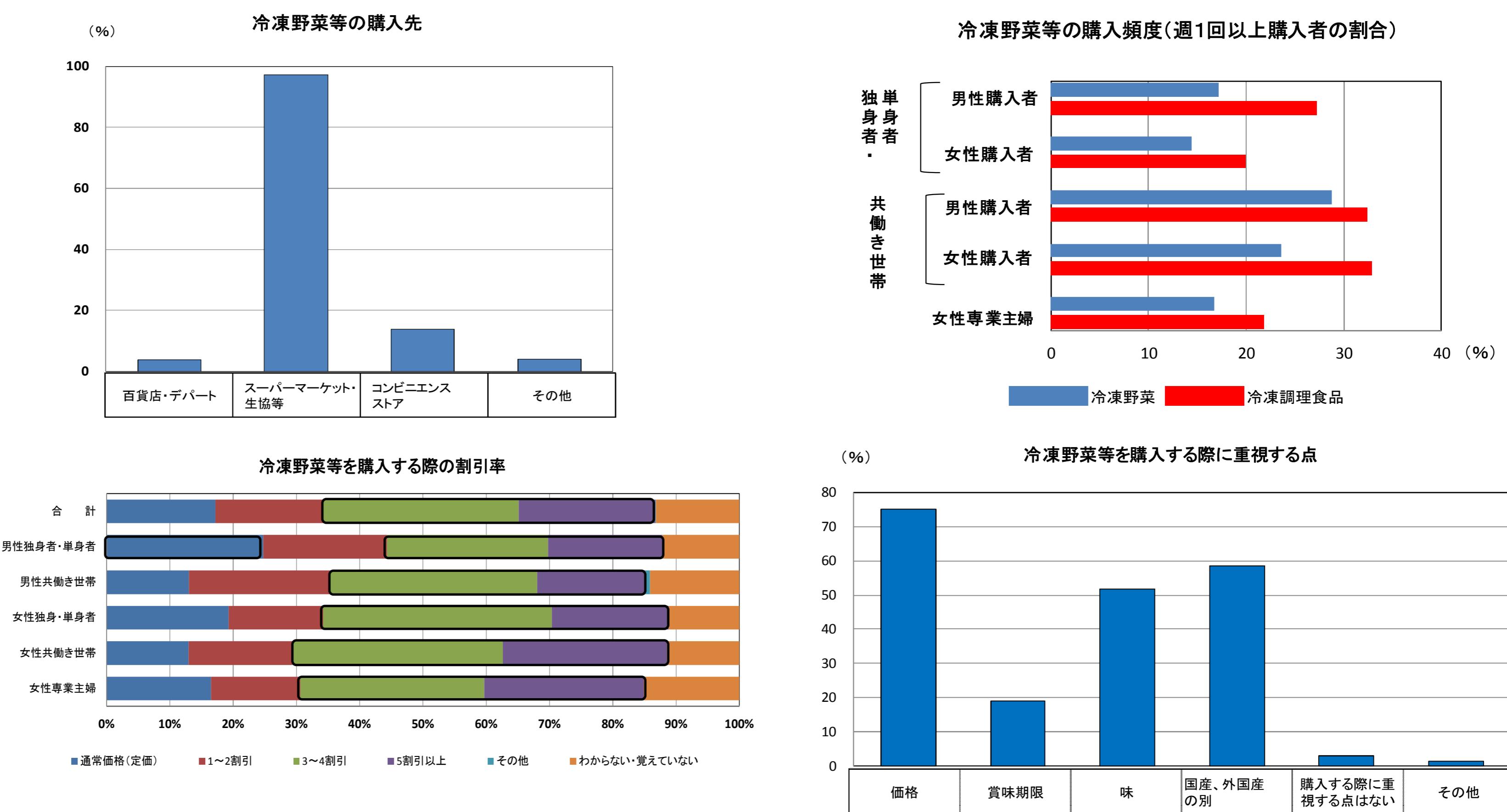
冷凍野菜等を週に1回以上購入する者を世帯属性別にみると、いずれも冷凍調理食品の購入頻度が高く、特に共働き世帯では、女性、男性ともに3割を超えていている。

冷凍野菜等を購入する際の割引率をみると、全体では、3割引以上で購入する者が5割を占めている。属性別では、男性独身者・単身者は、定価での購入者の割合が2割と他の属性に比べて高い一方、女性は、単身、共働き、専業主婦を問わず、男性に比して3割引以上での購入割合が高い傾向にある。

冷凍野菜等を購入する際に重視する点は、価格が7割強を占めているが、国産・外国産の別や味についても、それぞれ約6割、5割を占めている。また、冷凍野菜等を購入する際には約9割の者が原産国をチェックすると回答している。

冷凍野菜等は、調理の簡便性、利便性等もあって引き続き堅調な需要が見込まれており、消費者の購入基準も価格、原産国、味が重視されていることから、国内産地では、これらの特徴も見極めつつ、差別化された特徴ある產品の安定的な供給体制の強化が求められている。

（本調査はこちらから。
<http://www.alic.go.jp/content/000112123.pdf>）



資料：機構「平成26年度冷凍野菜等の消費動向調査 (Web調査)」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 前川、河原、斎藤、海老沼 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。